

2019～2021 年度 弘前大学岩木健康増進プロジェクト健診に
ご参加いただいた皆様へ

《研究課題名》

プラネタリーヘルスダイエットと排便状況との関連解析

《研究対象者》

弘前大学「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発」（岩木健康増進プロジェクト）（研究代表者：中路重之）の 2019 年度、2020 年度、2021 年度に参加いただいた方

研究協力をお願い

医薬基盤・健康・栄養研究所において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、岩木健康増進プロジェクトの 2019 年度、2020 年度、2021 年度の参加時に提供いただいた個人記録票、健康調査票、お薬手帳、食事調査票の情報をを用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究課題名》

プラネタリーヘルスダイエットと排便状況との関連解析

《研究期間》2023 年 9 月 21 日～2028 年 3 月 31 日

《研究責任者》 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 産官学連携研究センター 国際連携栄養研究室 山口美輪

《共同研究機関の研究責任者》 弘前大学大学院医学研究科 伊東 健

《意義》

この研究によって、地球環境と人々の健康の両方を考えた栄養政策づくりの科学的な根拠の資料となることが期待されます。

《目的》

良好な腸内環境のためには、健康的な食事が重要であることが言われています。近年、健康的な食事は、自然環境に配慮したものであることが求められています。自然環境に配慮した食事のひとつとして、植物性食品を中心としたプラネタリーヘルスダイエットとよばれる食事が 있습니다。しかし、この食事と排便状況との関係性についてはまだ分かっていません。そこで今回、プラネタリーヘルスダイエットに近い食事を摂っている人が、そうでない人と比べて排便状況が異なるのか、どのように異なるのかを明らかにすることを目指します。また、これらの関連が経済状況によって異なるかを調べます。

（２）研究の方法について

《研究の内容》

プラネタリーヘルスダイエットに近い食事を摂っているかを測るために、食事調査のデータを用いて、基準となる食品の量を満たすか否かで得点を付けます。排便状況を評価するために、科学的に確認された評価方法である「腸みえるシート」を用いて、排便量、形状、色を分類します。これらを用いて、プラネタリーヘルスダイエットに近い食事と排便状況との関係を分析します。分析の際に、性別、年齢、身長、体重、血圧、下剤や整腸剤の利用、既往歴、治療中の疾患、食習慣（食事回数、時間帯、間食回数、乳酸菌やビフィズス菌を含む食品・飲料の定期的摂取など）、調査年度を考慮して分析します。また、これらの結果を経済状況で層化して分析します。

《利用する情報の項目》

岩木地区住民における健康調査において 2019 年度、2020 年度、2021 年度に取得された以下のデータ

- ☐ 個人記録票（性別、身長、体重、血圧）
- ☐ 健康調査票（家族構成、配偶者、既往歴、薬物服用状況、学歴、暮らし向き、労働状況、生活習慣（喫煙、飲酒、運動・身体活動、睡眠）、現在の健康状態、食習慣（食事回数、時間帯、間食回数、乳酸菌やビフィズス菌を含む食品・飲料の定期的摂取情報）、喫煙・飲酒、健康管理、日常生活動作、社会的な結びつき、最近のストレス、歯と口の健康、便秘、もの忘れ）、腸みえるシート
- ☐ お薬手帳（下剤や整腸剤について）
- ☐ 食事調査（BDHQ：簡易型自記式食事歴法質問票）粗データ（質問票の回答内容）、栄養素摂取量（粗摂取量）、食品摂取量（粗摂取量）、主要栄養素の食品群別摂取量

《利用を開始する予定日》この文書の掲示日から 3 週間後～2028 年 3 月 31 日

《情報の管理について責任を有する者》

- ・国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長 中村祐輔
- ・弘前大学大学院医学研究科 教授 玉田嘉紀

（３）個人情報等の取扱いについて

本研究で利用する情報は、「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2020-046-4, 2020-046-1, 2020-046-5）」で収集し、加工（氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与）され、岩木データベースに登録された情報です。

（４）研究成果の公表について

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

（５）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（６）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（７）資金源の管理

本課題の資金源は、JST（国立研究開発法人 科学技術振興機構）が出資する公的研究費です。この研究の利害関係については、弘前大学及び国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所で責任をもって管理いたします。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 産官学連携研究センター 国際連携栄養研究室

山口 美輪

住所：〒566-0002 大阪府摂津市千里丘新町３－１７ 健都イノベーションパーク NK ビル

電話番号：06-6384-1120（代表）（平日 9:00～15:00）

メールアドレス：myamaguchi@nibiohn.go.jp